

日本農業工学会第144回理事会議事録

日 時：平成26年 1月9日（木） 15：00～17：00
場 所：東京大学農学部7号館7階会議室

出席者： 大政会長、中副会長、村瀬副会長、荊木理事、大下理事、東城理事
田川理事、三澤監事、岸田理事、町田理事
欠席者： 野口理事、石田監事（委任状2）

議事録

1. 第143回理事会議事録が確認された。
2. 30周年記念シンポジウム（平成26年5月13日（金）開催）について
担当学会（農業農村工学会、農村計画学会）、中理事から開催趣旨、企画の進捗状況、シンポジウムタイトル、プログラムの説明があり了承された。今後のPRや講演者対応について事務局作業の確認がなされた。
3. 第30回総会、記念式典、祝賀懇親会スケジュールについて
5月13日（火）のスケジュールについて事務局から提案があり、総会の開始時間の変更、来賓等について意見交換がなされ原案一部修正し、了承された。
4. 30周年記念顕彰について
学会創立30周年記念顕彰（功績章）を実施することになった。
各学協会から1名推薦、過去の役員（会長、副会長、事務局長）、CIGR関係を対象とし、3月中旬までに各学協会は事務局に推薦し、次回理事会（4月3日）に選考することになった。
5. 30周年記念冊子構成について
事務局長より30周年記念小冊子の最終構成案が提案され、了承された。
6. 平成25年度フェローの推薦状況について
中フェロー選考委員長から推薦状況が報告された。
7. 日本学術会議 CIGR 分科会との共同主催公開シンポジウムについて
事務局から共同主催の経緯及び野口分科会委員長からの依頼等が説明された。共同主催について了承された。本会から村瀬、大下、岸田、町田の各理事がこれに対応することとなった。
「国際農業工学会（CIGR）の動向と我が国の取り組み（仮題）」
日時：平成26年5月12日（月）13：00から、会場：日本学術会議
8. 次期事務局担当学会、事務局長の交代について
事務局長より、次期事務局担当学会として日本農作業学会及び事務局長に東城清秀理事とする提案があり、了承された。
任期は平成26年5月(2014)から29年5月(2017)までの3年間
9. 学会財政、JABEE 退会・会費変更について
財政改善案について事務局長から、団体加盟費を10万削減、正会員会費均等割りを1万値上げし、会費収入を現在より10万増を計る旨の提案があり、了承された。
会費値上げについては次回理事会で確認する。
10. 次回理事会（145回理事会）は平成26年4月3日（木）15時～17時

以上